

平成25年5月吉日

鶴岡工業高等専門学校創立50周年記念事業 募金趣意書

高等専門学校は、産業界からの強い要望に応え、中学卒業段階からの5年一貫教育により、優れた実践的技術者を育成するための高等教育機関として、昭和36年6月に学校教育法の一部改正により創設され、昭和37年4月には第一期校が開校し、その翌年、昭和38年4月には本校が第二期校として開校いたしました。

開校以来、地域の皆様、本校の卒業生・修了生を採用、あるいは受け入れていただいている企業や大学関係の皆様を始め、多くの方々には、多大なご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

本校は、開校時には、機械工学科、電気工学科の専門2学科で発足しましたが、その後の学科の増設、改組等を経まして、現在は機械工学科、電気電子工学科、制御情報工学科、物質工学科の専門4学科（学年定員160名）体制になり、さらに平成15年には機械電気システム工学専攻及び物質工学専攻の2専攻から構成される専攻科（学年定員16名）が新規に設置され、教育研究体制の整備・拡充が図られてきたところです。

現在、本校には、本科学生が約810名、専攻科学生が約50名在籍し、勉学、研究、課外活動等に日々励んでおりますが、おかげさまで、これまでの間、本科卒業生6,417名、専攻科修了生196名という多くの有意な人材を、産業界や大学等への進学として送り出すことができました。

さて、本校は、平成25年度に創立50周年を迎えることになりました。

本校は、この創立50周年を機に、これまでを振り返り、今後の更なる飛躍に向け、新たな時代の要請に対応しつつ、「地域密着型高専」として、引き続き地域と共に我が国産業の発展に貢献し続けることができるよう、教育研究活動を更に発展させていく所存であり、『国際交流・学生支援基金(仮称)』の設立など、別紙のとおり「創立50周年記念事業」を企画いたしました。

そして、この度、この記念事業の遂行と、更なる50年に向け益々の発展を期するため、多くの皆様のご理解とお力添えをいただきたく、募金活動を展開することといたしました。

既に、別途、記念事業の費用として後援会特別積立金（卒業時に卒業生1人4,000円を徴収）を準備いただいておりますことに対しては感謝申し上げます。（積立額は約1千万円となっております。）

しかしながら、『国際交流・学生支援基金の設立』事業を達成するためには、改めて、卒業生及び在校生保護者の皆様並びに関係企業等に再度のお願いをさせていただく必要があります。

現下の厳しい経済情勢の下、皆様には多大なご面倒をおかけいたしますが、本趣旨にご理解とご賛同をいただき、何卒格別のご協力とご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

独立行政法人国立高等専門学校機構
鶴岡工業高等専門学校
校長 加藤 靖

協 賛
鶴岡工業高等専門学校峰友会（同窓会）
会長 梅津 正春
鶴岡工業高等専門学校後援会
会長 阿部 雅彦